

# 政策広報

関東地方整備局

第123号

## 関東の窓

### ◆目次◆

#### ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

- 1 平成28年度関東地方整備局関係第2次補正予算の概要について
- 2 「特別展遺跡・遺物が語る！かながわ・秦野の歴史2016」にて厚木秦野道路(国道246号バイパス)事業の取り組みを紹介するパネルを展示します
- 3 首都圏初、国道にシェアサイクルポートを設置 10月21日より、千代田区、港区、江東区と連携し、国道上でのシェアサイクルの利用開始！  
～シェアサイクルの利用を促進し、都市環境の改善を目指します～
- 4 平成28年度 住民サービス部門モデル「道の駅」の認定について  
～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～
- 5 民間主催ツアーの受入を開始 ～関東地方整備局管内で初！～
- 6 「港湾空港技術講演会 in 横浜2016(第9回)」を開催します
- 7 道の駅を活用した再配達削減に関する社会実験の開始について  
～道の駅に再配達用宅配ロッカーを設置します～
- 8 関東「道の駅」新たに2箇所登録へ  
～関東地方整備局内では169箇所～
- 9 地域インフラサポートプラン2016  
～「技術者スピリッツ」紹介～

#### ◆◆国土交通本省の動き◆◆

- 1 「道路運送法の一部を改正する法律案」を閣議決定
- 2 平成28年度官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（第3回募集分）の実施について～第3回実施事業が決定しました～
- 3 平成28年度 国土交通省 国土技術研究会 を開催します
- 4 『私たちの主張 ～未来を創造する建設業～』及び『高校生の作文コンクール』の優秀作品について受賞者が決まりました



## ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

### 1. 平成 28 年度関東地方整備局関係第 2 次補正予算の概要について

関東地方整備局

平成 28 年度国土交通省関係第 2 次補正予算のうち、関東地方整備局関係の配分概要は本文資料(PDF)別紙のとおりです。

※国土交通省(本省)の予算概要については、国土交通省ホームページをご覧ください。

【国土交通省の平成 28 年度第 2 次補正予算】

[http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05\\_hy\\_000990.html](http://www.mlit.go.jp/page/kanbo05_hy_000990.html)

#### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [288 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku\\_00000431.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000431.html)

### 2. 「特別展遺跡・遺物が語る！かながわ・秦野の歴史 2016」にて厚木秦野道路(国道 246 号バイパス)事業の取り組みを紹介するパネルを展示します

横浜国道事務所

国土交通省関東地方整備局では、厚木市中依知から秦野市八沢へ至る厚木秦野道路(国道 246 号バイパス)について事業を進めているところです。

今回、発掘調査成果展示会と併せて行う「パネル展」において厚木秦野道路事業の概要や埋蔵文化財調査の進捗状況についてお知らせします。

#### 開催期間

- 「特別展遺跡・遺物が語る！かながわ・秦野の歴史 2016」

平成 28 年 10 月 4 日(火)～平成 28 年 11 月 27 日(日)

- 「厚木秦野道路(国道 246 号バイパス)事業」パネル展

平成 28 年 10 月 22 日(土)～平成 28 年 11 月 27 日(日)

会場：秦野市立桜土手古墳展示館 ミュージアムプロムナード

開館時間：9 時 00 分～17 時 00 分(入館は 16 時 00 分まで)

※道路事業における埋蔵文化財の調査費用は事業者が負担しています。

#### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [514 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yokohama\\_00000370.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yokohama_00000370.html)

### 3. 首都圏初、国道にシェアサイクルポートを設置 10月21日より、千代田区、港区、江東区と連携し、国道上でのシェアサイクルの利用開始！ ～シェアサイクルの利用を促進し、都市環境の改善を目指します～

東京国道事務所

東京国道事務所は、首都圏で初めて国道の歩道上にシェアサイクルの貸出・返却場となるサイクルポート(下記3箇所)を設置する社会実験※1を開始します。

※1 実験期間:平成28年10月21日～平成29年3月31日

国道の歩道上にシェアサイクルポートを設置し、公共交通機能の補完に向けた利用転換を促進し、交通事故の削減やCO2排出量の削減等を目指します。

今後、利用状況の調査等を実施し、効果検証を実施していきます。駅に隣接し、ビジネス、観光、商業の拠点となり得る利便性の高い箇所から選定

○国道1号:千代田区丸の内一丁目(丸の内北口ビルディング、新丸の内センタービルディング前)※2

○国道246号:港区元赤坂一丁目(赤坂センタービルディング前)

○国道357号:江東区東雲(東雲交差点)

東京都と5区(千代田区・中央区・港区・新宿区・江東区)が実施している自転車シェアリング「広域相互利用」の自転車を活用します。

([http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/management/bicycle\\_sharing/index.html](http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/management/bicycle_sharing/index.html))

※2 オープン初日は、現地にて自転車利用者へアンケート調査を実施しますので、取材対応が可能です。

取材を希望される場合は、事前連絡をお願いします。(本文資料(PDF)P.4参照)

#### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [640 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku\\_00000269.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/toukoku_00000269.html)

#### 4. 平成 28 年度 住民サービス部門モデル「道の駅」の認定について ～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～

関東地方整備局  
道路部

「道の駅」は、平成 5 年の制度創設以来、現在では全国で 1107 箇所には及び、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、「道の駅」の質的向上に向けた取組として、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”を新たに募集したところです。

今般、“住民サービス”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、認定対象を国土交通省として決定しましたので、以下のとおりお知らせします。

○関東地方整備局管内における認定結果

・道の駅「両神温泉薬師の湯」(埼玉県小鹿野町)

「道の駅」の情報については関東「道の駅」ホームページでもご覧になれます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/road/chiiki/index00000009.html>

#### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1585 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000148.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000148.html)

#### 5. 民間主催ツアーの受入を開始

～関東地方整備局管内で初！～

ハッ場ダム工事事務所

ハッ場ダム本体建設工事現場では、ダム本体コンクリート打設が始まっており、平成 31 年度の事業完成に向けて、日々変化している状況です。

今しか見られないスケールの大きい工事を多くの方にご覧頂くため、マイクロバスでご案内する現場見学会(国交省主催)に加え、トラベルツアー(民間主催)を受け入れることとします。

詳細については下記の通りです。

## 記

### 1. 見学場所：

ハッ場ダム工事現場 右岸天端付近(本文資料(PDF)別紙参照)

### 2. 見学可能日：

平成 28 年 10 月 17 日以降の月曜日～土曜日

(日曜日・年末年始は開催致しません)

### 2. 実施時間：

以下の時間帯のうち、30 分程度とし各時間帯で先着 1 社様まで

(1)09 時 30 分～11 時 30 分

(2)13 時 30 分～15 時 00 分


(3)15 時 30 分～17 時 00 分

### 3. 受入人員：

1 回につき、10 名以上 50 名様まで

※その他詳細は 9 月 29 日よりハッ場ダム工事事務所ホームページに掲載します。

### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1271 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yanba\\_00000058.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/yanba_00000058.html)

## 6. 「港湾空港技術講演会 in 横浜 2016(第 9 回)」を開催します

関東地方整備局  
港湾空港部

国土交通省関東地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所の共催により「港湾空港技術講演会 in 横浜 2016(第 9 回)」を下記のとおり開催します。

本講演会は、港湾・空港分野に関する最新の研究・技術開発の取り組み状況をわかりやすくご紹介することを目的として開催しているものです。

関東地方整備局では、海洋利用の推進や港湾工事の生産性向上を図るため、「海洋インフラ技術の推進」をテーマに、ICT 技術や遠隔無人化施工等を活用した「i-Construction の港湾分野の取り組み」等について、ご紹介します。

また、海上・港湾・港空技術研究所の大和裕幸理事長が、高度な ICT 技術を活用した事例として「オンデマンドバスー高齢社会を支える地域交通システム」と題し特別講演を行います。

## 記

■日時：平成 28 年 11 月 16 日(水) 14 時 00 分～17 時 45 分(受付開始 13 時 30 分)

■会場:横浜第二合同庁舎 1階 共用第1会議室

■内容・申込方法:本文資料(PDF)別紙リーフレットのとおり

<関東地方整備局ホームページ:<http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/>>

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [363 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/pa\\_00000193.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/pa_00000193.html)

## 7. 道の駅を活用した再配達削減に関する社会実験の開始について ～道の駅に再配達用宅配ロッカーを設置します～

関東地方整備局  
道路部

10月24日(月)より、道の駅「庄和」(埼玉県春日部市)に再配達受取用の宅配ロッカーを設置し、地方部での再配達削減のスキームとしての可能性を検証する社会実験を開始します。

トラックドライバー不足が進行する一方、Eコマースの進展に伴い、近年宅配便取扱個数が急速に増加しています。更に宅配便の約2割が再配達となっており、再配達の削減が重要な課題となっています。

このため、都心部の鉄道駅等で設置が進みつつある再配達用の宅配ロッカーについて、地域の拠点である道の駅に設置し、地方部での再配達削減のスキームとしての可能性を検証する社会実験を官民連携で開始します。

<実験の実施概要>

1.実験期間

平成28年10月24日(月)～平成30年3月末(予定)

2.実施箇所

道の駅庄和(埼玉県春日部市)

3.実施主体

道の駅を活用した再配達削減社会実験協議会

(有識者、宅配事業者、自治体、関係団体、関東地方整備局、関東運輸局)

参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1073 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000149.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000149.html)

## 8. 関東「道の駅」新たに2箇所登録へ ～関東地方整備局内では169箇所～

関東地方整備局  
道路部

「道の駅」は、平成5年に創設された制度で、市町村等からの申請に基づき、国土交通省道路局で登録を行っています。

今回、関東地方整備局管内で以下の2箇所が平成28年10月7日登録されました。

○埼玉県 秩父郡 東秩父村

(村道1-1号線)

道の駅「和紙の里ひがしちちぶ」

平成28年10月オープン予定

○長野県 佐久市

(国道142号、市道25-3号線)

道の駅「ヘルシーテラス佐久南」

平成29年7月オープン予定

・今回の登録により、  
関東地方整備局管内の「道の駅」は169箇所(全国1,107箇所)となります。

(茨城:13駅 栃木:24駅 群馬:31駅 埼玉:20駅 千葉:27駅  
東京:1駅 神奈川:3駅 山梨:20駅 長野:30駅)

「道の駅」の情報については関東「道の駅」ホームページでもご覧になれます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/road/chiiki/index00000009.html>

### 参考資料

[本文資料\(PDF\)](#)  [1420 KB]

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_0000147.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_0000147.html)



## 9. 地域インフラサポートプラン2016 ～「技術者スピリッツ」紹介～

関東地方整備局  
企画部

関東地方整備局では、年間約1,200件の工事を行っています。私どもは、これまで工事の目的や出来上がった際の効果を中心に広報してきました。建設工事は、いわゆる一品生産です。各現場では、品質が良く、地域の方に末永く使ってもらえるものを作ろうと技術者が日々努力をしています。世界に一つだけの工事に携わる技術者に光をあて、紹介していきます。  
「喜ばれるものを作る」奮闘する技術者の魅力が伝われば幸いです。



### 第1話

「水防災意識社会の再構築に取り組んでいます」

(常陽建設(株) 柿岡聡)



### 第2話

「多摩川の支川五反田川の水害排除に取り組んでいます」

(西武建設(株) 西尾浩久)



### 第3話

「地域に喜ばれる「良いもの」を造りたい」

(戸田建設(株) 木立恭史)

詳しくは、関東地方整備局ホームページをご覧ください。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000022.html>

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 「道路運送法の一部を改正する法律案」を閣議決定について

#### 1. 背景

本年1月15日に発生した軽井沢スキーバス事故により、13人の将来ある若者の命が突然に奪われました。この事故を受け、国土交通省に設置された検討会において、このような悲惨な事故を二度と起こさないという強い決意のもとに総合的な対策がとりまとめられました。

この法律案は、この対策のうち、法律改正が必要な事項について措置するものです。

#### 2. 法律案の概要

##### (1) 事業許可の更新制の導入

貸切バス事業者が安全に事業を遂行する能力を有するかどうかを5年ごとにチェックします。

##### (2) 不適格者の安易な再参入・処分逃れの防止

旅客自動車運送事業について以下の措置を講じることとします。

○事業の許可について、

- ・ 欠格期間を現行の2年から5年に延長し、
- ・ 許可取消を受けた会社の子会社等、処分逃れを目的として監査後に廃業した者等の参入を制限します。

○運行管理者（※）の資格者証の交付について、欠格期間を現行の2年から5年に延長します。

（※）乗務員の労務管理や車両の日常点検等の運行管理の責任を担う者

○休廃業を現行の事後届出制から30日前の事前届出制に改めます。

##### (3) 監査機能の補完・自主的改善の促進

貸切バス事業者に対して民間指定機関による巡回指導等を行うため、当該機関による貸切バス事業者からの負担金徴収の制度を創設します。

##### (4) 罰則の強化

輸送の安全確保命令に従わないバス事業者に対する法定刑を強化するとともに、法人重科を創設します。


※この年末からのスキーシーズン前に必要な措置を講ずべく、法律が成立した場合、その公布日から1ヶ月以内（上記（1）は来年4月）から施行します。

#### 添付資料

[報道発表資料](#)（PDF形式）

[概要](#)（PDF形式）

[要綱](#)（PDF形式）

[案文・理由](#)（PDF形式）

[新旧対照表](#)（PDF形式）

[参照条文](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03\\_hh\\_000247.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000247.html)

## 2. 平成28年度官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（第3回募集分）の実施について～第3回実施事業が決定しました～

国土交通省は、平成28年度「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（第3回募集分）」について、別添1のとおり、地方公共団体が実施する5件の調査計画の支援を決定しましたので、お知らせします。

各地域が個性や強みを活かした地域活性化を図るために、民間の投資や事業活動等に合わせ、官による必要な基盤整備を一体的に行うことが必要です。本事業は、民間の意志決定のタイミングに合わせ、基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑な移行を支援するための制度です（補助率1/2）。

今後も官民連携による広域的な地域戦略に資する基盤整備の事業化検討を支援してまいります。


※平成28年度第3回実施事業の個別事業概要は、以下に掲載しております。

(<http://www.mlit.go.jp/common/001148237.pdf>)

※その他、事業制度の概要や過去の実施例等は以下をご覧ください。

(<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

### 添付資料

[報道発表資料](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09\\_hh\\_000067.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000067.html)

## 3. 平成28年度 国土交通省 国土技術研究会 を開催します

地方整備局、地方公共団体、研究機関等により「安全・安心」「活力」「イノベーション」等のテーマで、研究課題の発表が行われます。

また、2日目には建築家の妹島和世氏による特別講演が開催されます。

### 記

#### 開催日

平成28年11月1日（火）、2日（水）の2日間

#### 開催場所

国土交通省（中央合同庁舎2号館）

#### 開催概要

11月1日（火）自由課題（一般部門、イノベーション部門）、ホスターセッション

11月2日（水）自由課題（アカウンタビリティ部門）、ホスターセッション、指定課題、特別講演※1

#### ※1 特別講演

《講師》 妹島 和世 氏（建築家）

《テーマ》 環境と建築

※開催概要は、別紙のとおりです。

その他： 一般参加可能 参加費無料 詳細はHPをご覧ください。


HP：<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>（事前参加申込はこちらから）

※事前参加申込がなくても参加可能ですが、入館手続の効率化のため、事前の申込にご協力をお願いします。

国土技術研究会は、住宅・社会資本整備行政に係る技術課題、中長期的に又は緊急的に取り組むべき技術課題等について、本省、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、住宅・社会資本整備に関する技術の向上と行政への反映を図ることを目的として開催するもので、今回は70回目の開催となります。

発表課題は、指定課題、自由課題3部門、ホッスターセッションからなり、各課題の発表者は、国土交通省、独立行政法人、地方公共団体等の技術者です。聴講者は、学会、民間を含めた広く一般の技術者が参加されます。

#### 添付資料

[別紙（開催概要）](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08\\_hh\\_000365.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000365.html)

#### 4. 『私たちの主張 ～未来を創造する建設業～』及び『高校生の作文コンクール』の優秀作品について受賞者が決まりました

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会は、毎年度、建設業を担う方々の意識高揚を図るために、建設業に携わる社会人と、工業高校の生徒を対象とした作文コンクールを実施しており、平成28年10月7日に、国土交通大臣室で今年度の国土交通大臣賞授賞式を行います。

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：（一財）建設業振興基金）では、建設業を担う方々の意識高揚を図るとともに、広く国民の方々に建設産業の役割や重要性について理解と関心を高めて頂くため、これから就職しようとする若者へのメッセージなどを『私たちの主張 ～未来を創造する建設業～』として募集し、優秀作品を表彰しています。

また、建設業への入職に関心を抱いて頂くために、工業高校の建築・土木、環境、デザイン学科などで学んでいる在校生を対象として将来の建設業で活躍する自分の姿、自分で造りたい建物などに対する「夢」や「憧れ」等について、高校生の作文を募集し優秀作品を表彰しています。

優秀作品は、下記のとおりとなり、国土交通大臣賞受賞者については表彰状の授与等を実施することとなりました。

これらの作品は、（一財）建設業振興基金のホームページ

「建設のしごと」（<http://www.yoi-kensetsu.com/shigoto/index.html>）および

「建設現場へGO!」（<http://genba-go.jp/>）で公表し、建設産業への理解と関心の向上に役立てられます。

## 1. 『私たちの主張 ～未来を創造する建設業～』の受賞者等について

### [1]概要

対象者：建設業への従事者

応募総数：452作品

### [2]国土交通大臣賞受賞者

- ・吉成 健 佐藤工業株式会社（福島県）「私にとっての「ヒーロー」」
- ・寺田 智子 加賀建設株式会社（石川県）「チームプレーの虜」

### [3]土地・建設産業局長賞受賞者

- ・仲村 竜一 春山建設株式会社（宮城県）「『笑顔』を創る」
- ・中込 恭平 丹澤建設工業株式会社（山梨建）「若者が語る建設業」
- ・松本 史人 株式会社河村産業所（愛知県）「苦勞したからこそ」

### [4]佳作の受賞者

- ・昆野 朝美 株式会社小野良組（宮城県）
- ・平間菜穂子 山形建設株式会社（山形県）
- ・岡 真弓 株式会社早野組（山梨県）
- ・望月 陽太 飯田鉄工株式会社（山梨県）
- ・大信 楓 株式会社植木組（新潟県）
- ・渡邊 哲也 株式会社新潟藤田組（新潟県）
- ・新海 一樹 畑八開発株式会社（長野県）
- ・内山慎太郎 鈴与建設株式会社（静岡県）
- ・松本 信二 星野建設株式会社（長崎県）
- ・川口 風音 株式会社九建（熊本県）

## 2. 『「建設業の未来」を担う高校生の君たちへ～』の受賞者等について

### [1]概要

対象者：全国の工業高校の建築学科、土木学科等の在校生

応募総数：1,290作品

### [2]国土交通大臣賞受賞者

- ・齋藤 萌 福島県立喜多方桐桜高等学校（3年）「技術者としての覚悟」

- ・柴田 夏葵 富山県立高岡工芸高等学校（3年）「空間を考えること」

### [3] 土地・建設産業局長賞受賞者

- ・佐野 郁馬 山梨県立甲府工業高等学校（3年）「建築への思い」
- ・岩丸 宗也 長崎県立鹿町工業高等学校（3年）「支える力」
- ・小山 美樹 熊本県立熊本工業高等学校（2年）「私の憧れと夢」

### [4] 佳作の受賞者

- ・佐藤 秀吉 千葉県立京葉工業高等学校（3年）
- ・国場 秀明 神奈川県立藤沢工科高等学校（2年）
- ・更家 優和 静岡県立科学技術高等学校（1年）
- ・山田 能 石川県金沢市立工業高等学校（2年）
- ・石江 莉乃 長崎県立長崎工業高等学校（3年）
- ・尾崎 初寧 長崎県立長崎工業高等学校（3年）
- ・山口 紗恵子 長崎県立長崎工業高等学校（3年）
- ・平山 悠斗 長崎県立鹿町工業高等学校（2年）
- ・村田 翔 長崎県立鹿町工業高等学校（2年）
- ・藤川 智大 熊本県立天草工業高等学校（3年）
- ・山下 優大 宮崎県立都城工業高等学校（1年）

### 3. 国土交通大臣表彰の授与等


- ・日時：平成28年10月7日（金）11：20（予定）
- ・場所：国土交通大臣室
- ・授与者：国土交通大臣
- ・内容：表彰状の授与
- ・取材：写真撮影等は可能（取材希望者は、10月6日までに別添取材申込書をFAXで事前に登録してください。）

※作品のデータを事前に必要な方は問い合わせ先までご連絡してください。

※写真撮影等をご希望の方は、指定された集合場所に当日11：00までに集合してください。

※正確な集合場所、式場、授与者等については、事前登録された社に個別に連絡させていただきます。

#### 添付資料

[報道発表資料](#)（PDF形式）

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14\\_hh\\_000611.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000611.html)



◆◆地域の動き◆◆

埼玉県 県土整備部 道路街路課

## 西関東連絡道路 ～埼玉県と山梨県を結ぶ地域高規格道路～

### 一般国道140号「皆野秩父バイパス」

#### 1 概要

一般国道140号は、山梨県境の雁坂峠により長い間「開かずの国道」と呼ばれていましたが、平成10年度に建設省施工の雁坂トンネル(延長約6.6km)が開通したことにより、不通区間が解消され、本県と山梨県を結ぶ主要幹線道路となりました。

秩父地域は年間5百万人を超える入込観光客数があり、春の芝桜で有名な羊山公園をはじめ、四季を通じた観光名所があることから、観光振興を支える役割を担っています。また、秩父地域の地域住民にとって日常生活を支える生活道路ともなっているため、通過交通と地域内交通が輻輳し、交通混雑が発生しています。

一般国道140号皆野秩父バイパスは、埼玉県(関越自動車道花園IC)と山梨県(新山梨環状道路)を結ぶ地域高規格道路「西関東連絡道路」の一部を構成する延長約4.9kmの道路です。



【図1】西関東連絡道路の位置



【図2】秩父地域の主な観光資源

## 2 整備状況

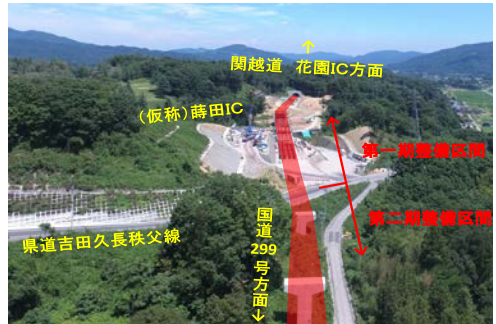
西関東連絡道路は平成6年度に地域高規格道路として指定されました。本県では、平成7年度に事業化した、橋梁7橋(総延長1.2km)、トンネル5箇所(総延長6.1km)から成る延長約10kmの皆野寄居バイパスが平成13年度に供用し、平成14年度から皆野秩父バイパスを事業化しています。

皆野秩父バイパスは皆野寄居バイパス終点を起点とし、一般国道299号を終点とする、橋梁11橋(総延長1.8km)、トンネル3箇所(総延長0.5km)から成る延長約4.9kmの道路です。整備については、交差する県道吉田久長秩父線((仮称)蒔田IC)までの延長約4.0kmを第一期整備区間、その先の延長約0.9kmを第二期整備区間としています。

第一期整備区間は平成28年度の供用を目指し、第二期整備区間は平成29年度の供用を目指して鋭意整備を進めています。



【写真1】秩父やまなみ大橋



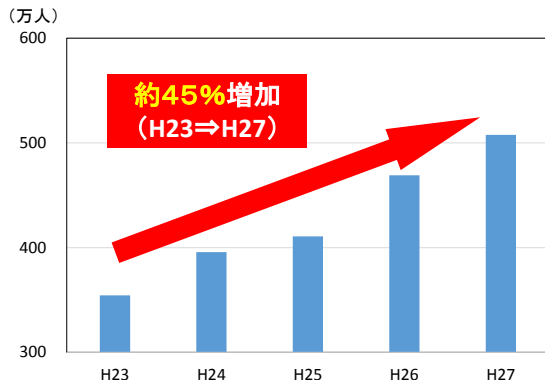
【写真2】(仮称)蒔田IC

## 3 整備効果

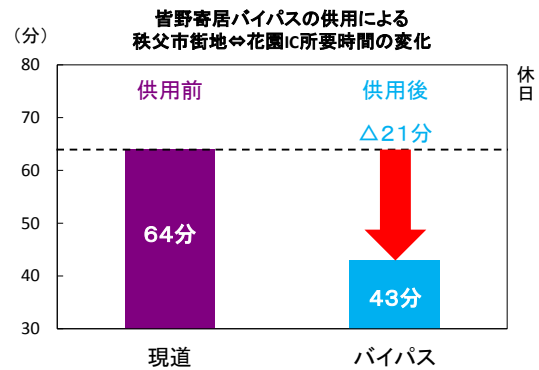
皆野秩父バイパスを整備することによって、国道140号(現道)の通過交通と地域内交通を分離することで、慢性的な交通渋滞が緩和されます。また、走行距離や走行時間が短縮され、関越自動車道とのアクセスが向上し、秩父地域の活性化に大きく寄与します。

既に開通した皆野寄居バイパスの整備により、秩父地域と花園ICのアクセスが向上し、秩父市入込観光客数が増加しています。

皆野秩父バイパスが全線供用することにより、更なる効果が期待されます。



【図4】秩父市入込観光客数の推移 (出典：秩父市)



【図3】秩父地域へのアクセス向上



# 魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備について

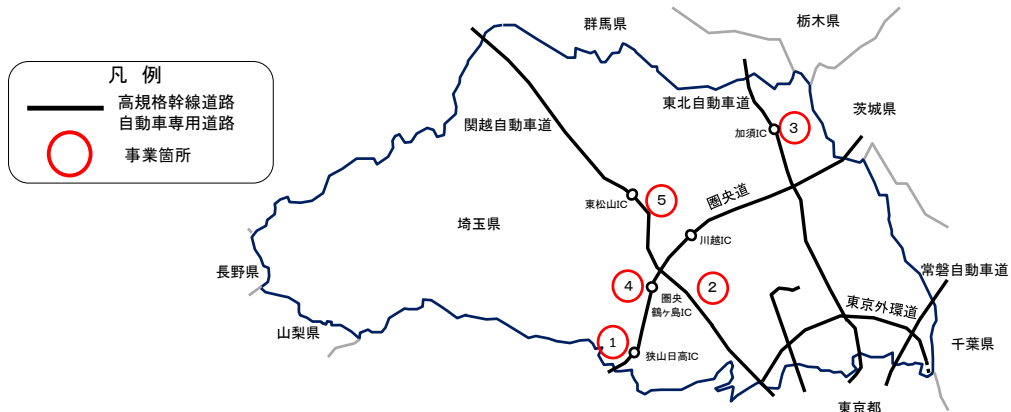
## ～ストック効果を見据えた道路整備～

### 1 背景・目的

平成27年10月31日に埼玉県内の圏央道が全線開通したことにより県内の高速道路網がさらに充実し、都内・東北・日本海側など全方位に産業経済活動を展開できるようになった埼玉県は、交通の要衝としての魅力がますます高まっています。

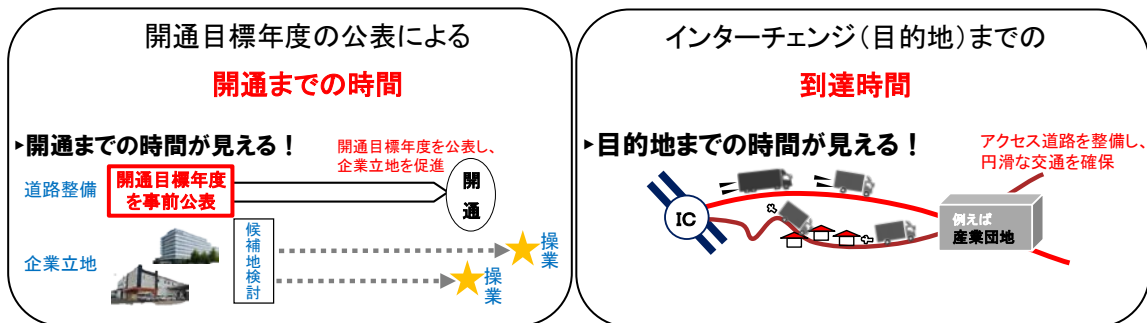
そこで、本県では高速道路ネットワークを最大限に活かす道路整備により、企業進出をさらに促進させるため、本県の骨格を形成する主要な幹線道路5路線5箇所を「魅力UP！時間が見えるインターアクセス道路整備」施策に位置付けて、重点的に整備を推進しています。

【事業箇所図】



### 2 概要

本事業は、「開通年度の公表による開通までの時間」と「インターチェンジまでの到達時間」の2つの見える化を行い、企業立地を促進することでストック効果を見据えた道路整備を行うものです。



【事業実施箇所】

No	路線名	市町村	開通目標年度
①	県道飯能寄居線(新堀・北平沢)	日高市	H30年度
②	(都)川越北環状線(小室)	川越市	H30年度
③	国道125号(栗橋大利根BP)	久喜市・加須市	H31年度
④	国道407号(鶴ヶ島日高BP)	鶴ヶ島市・日高市	H32年度(部分供用)
⑤	県道東松山鴻巣線(久保田)	吉見町	H33年度